

「笑う男」 無声映画×演奏 新世界へ

来月27日 坂井で「シネコンサート」

無声映画の名作に合わせて作ったオリジナルの楽曲を生演奏する「シネコンサート」が10月27日、坂井市のハートピア春江で行われる。映像と演奏をマッチさせ独特の臨場感や緊迫感を創出、鑑賞者を新しいエンターテイメントの世界に引き込む。
(後藤奈史)

映画音楽を映像に合わせて生演奏するイベントはあるが、シネコンサートの特徴は、登場人物の感情の機微、情景を表す効果音などをオリジナル曲で表現し生演奏する。台詞は最低限の字幕だけ表示する。

公演は「Beyond Ci nema」(ビヨンド シネマ) 1999年と2015年に上映された無声映画の名作と室内楽のマ

感情や情景曲で表現

リアージュ(福井新聞社後援)と題して「笑う男」を上演する。

「笑う男」は、ビクトル・ユゴーの長編小説を原作にした無声映画。17世紀のイギリスを舞台に、作り笑いを浮かべる顔に

ディボドーさんがタクトを振り、同団が生演奏する本公演は、再演の声に応える形で実現した。

同団のバイオリニスト、長沼由里子さん、東京都出身の「登場人物の気持ちになって、感情の移

り変わりも込めて弾いている。ユゴーの中で地味な作品ではあるが、愛や社会批判など幅広く込められた作品」と魅力を語る。

公演は芸術、文化公演などをプロデュースする東京都内の会



2015年に京都市で上演されたシネコンサート「笑う男」

社が主催し、東京と奈良、香川の両県でも行う。主催者は「音が語る感動をぜひ体験してほしい」と話している。

午後3時から。チケットは全席指定で5千円で、12歳未満は入場不可。同会場ほか県内プレイガイドで販売中。問い合わせはハートピア春江 ☎0776(51)8800。